

# JACET-Kansai Newsletter

No. 43 June 13, 2008

支部長: 木村 博是 (近畿大学) (Chapter President: Hiroshi Kimura, Kinki University)  
支部事務局: 〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1-2-1 神戸大学国際コミュニケーションセンター 石川慎一郎研究室  
(Chapter Office: Dr Shin Ishikawa, School of Languages & Communication, Kobe University)  
E-mail: jacetkansai@gmail.com URL: <http://www.jacet-kansai.org/>  
郵便振替口座番号(Postal Account): 00940-4-187715 大学英語教育学会関西支部

## これからの関西支部の方向性

支部長 木村博是

このたび、JACET 関西支部長に再任されました。今後2年間支部長を務めさせていただきます。過去2年間、支部役員、各委員および会員の皆様のご尽力を賜り、充実した支部活動ができました。皆様の熱意溢れるご協力に衷心より感謝とお礼を申し上げます。

次の2年間は、責任の重大さを再認識し、一期目の貴重な経験を生かし、さらに有意義で魅力ある支部活動の計画実行を目指します。会員の皆様からの有益なご意見をもとに、本部、他支部との連携を密にして関西支部の活性化を図ります。支部会員613名一人一人の積極的なご協力を得て、学会の発展に尽くしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

ところで今夏は8月8日から北京オリンピックが開催されますが、1990年にオリンピック招致活動を開始した政治家鄧小平の有名な言葉に「白ネコであれ黒ネコであれ、ネズミを捕るのが良いネコである」というのがあります。観念論を退け、ものごとを実務的、実際に処理しようとするプラグマティズムの発想としてよく知られている言葉で、方法は何であれ結果が大事だということを表したものです。この発想は、政治の世界だけでなく、大学英語教育にも適用できるのではないのでしょうか。

先日、摂南大学で開催された関西支部春季大会のテーマは「変わりゆく英語教育—英語教育再考」でした。私たちは絶えず前進しつつ、時には足を止めて振り返り、今の学生に合った英語教育を模索して良い結果を出すことが必要です。4月の授業初めに定めた到達目標を達成するために、教員は授業に取り組んでいかなければなりません。しかしその方法は、一律右にならえではなく、一人一人の教員が最も得意とする授業方法でいいはずで、授業方法は何であれ、セメスターの終わりに成果を出せるかどうか問われるのではないのでしょうか。

幸い支部大会や研究会に参加すると、いろんな授業理論・実践を聞くことができます。自分と全然違う方法での授業実践報告を聞くことはプラスになります。授業がうまくいっていないと感じれば、自分と違う指導方法を導入してみてもはどうでしょう。逆に、授業がうまくいっ

ていれば、ぜひとも支部大会で実践報告をしていただきたいと思います。

さて、これからの関西支部の方向性ですが、「支部大会、講演会」「JACET 関西紀要」「各研究会」に関連性を持たせることにより、それぞれの一層の活性化を促進させます。また、会員の増加や、若い教育・研究者育成の支援策として、学会が人材育成の場となるように努めます。以下、要点のみ列挙します。

### 【支部大会】

- ・申込時の発表概要などを簡略化し、ウェブ申込制度を採用
- ・会員の多くが参加したいと思う魅力的な大会内容を企画
- ・電子版のプロシーディングズを刊行

### 【JACET 関西紀要】

- ・支部大会や全国大会での発表論文を記載
- ・支部大会講演や講演会発表を掲載
- ・電子ジャーナルを同時刊行
- ・関西支部創立40周年(2012年)を迎え、40周年記念号の刊行(40年の歩み)を企画

### 【講演会】

- ・年3回のうち、2回は各研究会の輪番制シンポジウム形式の講演会とし、1回は講演会

### 【ニューズレター】

- ・紙面での配布を漸次廃止し、ウェブ&メールニュース

このようなことを検討し、実現に向けて取り組みます。その他、会員の皆様にとって有意義な事業の展開に努めますので、忌憚ないご意見をお聞かせいただきたく、お願い申し上げます。

## ■ JACET が社団法人に ■

6月9日に文科省から法人化の「内諾」が得られました。設立総会を開催後、正式申請をする運びです。1962年にJACETが誕生して以来、46年の歳月を経て任意団体から社団法人として新たな一步を踏み出すこととなります。

## ■ 事務局が交代しました ■

総会を経て、支部事務局が神戸大学石川研究室に移りました。連絡先は本NLの冒頭をご覧ください。これから1年間、支部運営のお世話をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。新事務局は、木村支部長・野口副支部長（新任）と、6名の幹事で構成されます。幹事は職掌を整理し、総務（石川・長谷）、広報・紀要（佐藤、水本）、会計（窪田・氏木）の3つのセクションで仕事を進めてまいります。このうち、水本・氏木の両名は新任になります。

また、これまでは事務局は2年交代でやってまいりましたが、多くの人が支部運営に関わるという観点から、以後は1年交代を原則とする方針です。与えられた1年間で、以後につながる業務の効率化と活性化を図ってまいります。支部活性化のため、ぜひともメールなどで忌憚ないご意見、アイデアをお寄せくださいませ。

また、小栗前事務局幹事には、長年にわたり、支部のお世話をいただき、御礼申し上げます。（石川慎一郎）



同時に、役員にも一部変更がございました。詳細はHPの支部役員一覧でご確認ください。下記では、新副支部長・旧事務局幹事・新旧研究企画委員長・新旧紀要編集委員長よりメッセージをいただきました。

### ◎旧事務局幹事：小栗 裕子 先生

2年間事務局を担当しました小栗です。6月7日の総会をもって石川慎一郎先生と交代いたしました。在任中会員の皆様から多くのご支援やご指導をいただき、心よりお礼申し上げます。

### ◎旧研究企画委員長：林 桂子 先生

研究企画委員会では、この2年間において、「外国語学習を科学する」「文法指導とコミュニケーション」「変わり行く英語教育」という大会テーマに相応しいパネリスト、講演者、研究発表者をお迎えして、活発な議論の花を咲かせていただきました。参加者、発表者、そして研究企画委員の先生方の温かいご協力を厚く御礼申し上げます。

### ◎旧紀要委員長：菅山 謙正 先生

2006年度から2号にわたって支部紀要の編集に携わらせていただきました。私をご承知のように、英語教育の専門ではないのですが、大学の同窓で、この分野のexpertである門田修平、竹内 理の両氏、ならびにやはり専門家の今井裕之氏の方々の強力なsupportの下、恙無く仕事をこなしたと思います。支部の紀要とはいえ、国際的に通用するものを発行するべきで、その意味もあり、今年の号は体裁を一新しました。

exitus acta probat

### ◎新副支部長・新紀要編集委員長：

野口ジュディー・津多江 先生

At the JACET Kansai Chapter Spring Meeting held on June 7, the position of Kansai Chapter Vice President was officially approved. As the first to fill this position, I take office with a renewed sense of responsibility to serve in an organization that is working toward the betterment of English language education in Japan. This work is more important than ever before because of the serious issues and trends that are sweeping the globe today with astonishing speed. To have Japan's voice clearly and effectively heard, we need to efficiently prepare our students to be able to respond with confident professionalism in a language that will be heard around the world. The position also comes with job of editor of the *JACET Kansai Journal*, and I would like to take this opportunity to invite the Kansai Chapter members to contribute to this *Journal*.

### ◎新研究企画委員長：東 眞須美 先生

前任者の献身に感謝し、その任を引き継ぎます。世の中の多様化とともに、会員の皆様の興味・研究分野も多様化しています。時に理論面の話題で、また、時に実践面の話題で、可能な限り会員の御要望に応えられますよう、研究企画委員一同精一杯努力いたします。楽しく有意義な支部大会の計画や興味深い研究の機会が提供できますように、そして、気軽に会員の皆様が御意見の交流をしていただけますように願っています。

## ■ 支部研究会の紹介 ■

JACET 関西支部では10研究会が活発に活動しています。年度初めにあたり、以下に各研究会名・代表者名・代表者連絡先を紹介いたします。各研究会では原則として、常時、新入会員の申込みを受け付けておりますので、興味・関心のある研究会がありましたら、お気軽に各研究会の代表者までご連絡ください。また、最新の活動情報はJACET関西HPにてご確認ください。

### ◆文学教育研究会

代表：松田早恵（摂南大学）

sae@ilc.setsunan.ac.jp

### ◆学習英文法研究会

代表：奥田隆一（関西大学）

takalokuda@gmail.com

### ◆英語力指標研究会

代表：辻 伸幸（和歌山大学教育学部附属小学校）

tsusan3852jp@yahoo.co.jp

### ◆ESP 研究会

代表：幸重美津子（京都外国語大学専門学校）

yuki@balloon.ne.jp

◆海外の外国語教育研究会

代表：橋内 武（桃山学院大学）  
thashi@andrew.ac.jp

◆教材開発研究会

代表：安田 優（北陸大学）  
masaruy@hkg.odn.ne.jp

◆リスニング研究会

代表：樽井 武（電気通信大学）  
tarui@bunka.uec.ac.jp

◆リーディング研究会

代表：長谷尚弥（関西学院大学）  
nhase@kwansei.ac.jp

◆ライティング指導研究会

代表：正木美知子（大阪国際大学）  
masaki@hus.oiu.ac.jp

◆英語教育総合研究会

代表：成田 一（大阪大学）  
narita@lang.osaka-u.ac.jp

■ 2008 年度 関西支部春季大会報告 ■

6月7日(土)、摂南大学寝屋川キャンパスにおいて「変わりゆく英語教育—英語教育再考—」を大会テーマとして春季大会が開催され、106名の参加がありました。

午前10時から始まった開会式に続いて、午前中には2件のワークショップ、昼休みをはさんで午後には1件のワークショップ、4件の研究発表、そして1件の実践報告が行われました。さらに休憩の後、「あの二人が語りつくす英語と英語教育」というテーマのシンポジウムが開催され、加藤雅之先生（神戸大学）司会のもと、静哲人先生（関西大学）と青谷正妥先生（京都大学）のお二人のパネリストがフロアの先生方と熱い議論を行いました。

その後の懇親会にも多くの参加者にお集りいただき、楽しく有意義な親睦の時間を過ごすことができました。会場校を提供していただいた摂南大学の先生方をはじめ、研究企画委員の先生方、ご苦労様でした。また、参加していただいた皆様、有り難うございました。

■ 2008 年度 関西支部秋季大会 ■

＜ワークショップ・研究発表・実践報告応募要領＞

2008年度 JACET 関西支部秋季大会は、10月12日（日）に神戸大学 国際文化科学研究科キャンパスにて開催されます。この大会でのワークショップ・研究発表・実践報告を募集致しますので、発表をご希望の会員の方は、次の要領で関西支部事務局までご応募ください。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

1. 発表は英語教育および関連分野に関する内容で、未発表のものに限ります。
2. 研究発表・実践報告は、発表が 20 分、質疑応答が

10 分、合計 30 分の形式になります。

3. 応募者は、以下の情報を JACET 関西支部ホームページ ([www.jacet-kansai.org](http://www.jacet-kansai.org)) の「発表申込みフォーム」より入力してください。

A) 応募情報

- a) 発表形式: ワークショップ、研究発表、実践報告の別を選択してください。
- b) 発表題目（日本語と英語）
- c) 発表者情報（共同発表は氏名と所属のみ）：氏名（漢字とローマ字）、所属（日本語と英語）、E-mail
- d) 発表に使用する言語（日本語、もしくは英語）
- e) 使用希望機器（無い場合は「なし」を選択）

- B) 発表要旨（目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献等）日本語の場合は 800 字程度、英語の場合は 300-400 words、無記名とする。＜重要＞文字数を厳守してください。

※申込み入力確認を、一両日中に入力いただいたE-mail に自動返信します。万一、連絡がない場合は事務局までご一報ください。

4. 締切り：2008 年 7 月 18 日（金）午後10時
5. 選考は選考委員会にて行います。
6. 選考結果は、締切り後 1 ヶ月程度で E-mail あるいは封書にて通知します。
7. その他：ワークショップの詳細については、事務局までお問い合わせください。

CALL FOR PAPERS

The 2008 Fall Conference of the JACET Kansai Chapter will be held at Kobe University on Sunday, October 12. Members of the JACET Kansai Chapter are invited to present proposals for research papers, reports on classroom activities and workshops. Conditions and procedure for proposals are as follows:

- 1) Proposed topics should be relevant to English education and related fields. The proposed material should not have been presented elsewhere.
- 2) A research paper or a report on classroom activities should consist of a 20-minute presentation and a 10-minute Q & A period.
- 3) The following proposal forms A and B should be prepared on the JACET Kansai Web site ([www.jacet-kansai.org](http://www.jacet-kansai.org)).

A) Application form:

- a) Type of proposal (research paper, report on classroom activities or workshop); b) Title of proposal; c) Information about applicant: name, affiliation, e-mail address; d) Language for presentation (English or Japanese); e) Equipment required.

- B) Abstract: anonymous; adhere to 300-400 words. (Some mention should be made of the purpose of the research; background; methods; conclusion; references.)

- ※ Acknowledgment of the receipt of your proposal will be sent by E-mail within two days after its receipt. If you do not receive an acknowledgment, please inform the office as soon as possible.
- 4) The deadline for proposals: July 18, 2008.
  - 5) Selection of the proposals will be carried out by the Reviewing Committee.

- 6) Notification of acceptance will be sent from the office within a month after the deadline.  
 7) With regard to workshops, please contact the JACET Kansai office for details.

■ 『JACET関西紀要』投稿募集 ■

紀要編集委員会では、『JACET 関西紀要』第 11 号への投稿論文を募集いたします。会員の皆様には奮ってご投稿くださるようお願い申し上げます。投稿原稿は、大学における英語教育およびその関連分野の研究に資する内容のものとしします。

投稿期限：2008 年 10 月 31 日 (金) 午後 11:59 まで  
 論文送付先：紀要編集委員会 事務局長

水本 篤 (流通科学大学)

[jacet.kansai.journal@gmail.com](mailto:jacet.kansai.journal@gmail.com)

(提出は郵送不要、メールのみ)

- ※ 受領後 3 日以内に確認の返信が届きます。万一 3 日たっても返信が届かない場合は、再度ご連絡ください。  
 ※ 紀要編集委員会では、投稿者の負担軽減の観点から、投稿時の原稿郵送を不要とし、電子メールの添付ファイル送信のみとする方向で、現在、審議・検討を行っています。

発行までの日程：

10 月末日(必着) 投稿原稿締め切り  
 (★添付ファイル送信のみ)

12 月末日 審査結果通知

2 月 10 日(必着) 修正原稿締め切り  
 (★添付ファイル送信+印刷済原稿郵送)

3 月末 刊行

なお、投稿の際には [www.jacet-kansai.org/kako.html](http://www.jacet-kansai.org/kako.html) にある『JACET関西紀要』の書式テンプレートをご覧の上、書式に従ってください。投稿規定については、JACET 関西 HP をご参照ください。

**JACET Kansai Journal Call for Papers**

Kansai Chapter members are welcome to submit manuscripts for consideration for publication in Vol. 11. Papers should be related to research on college English language education or related areas.

Submit manuscripts to:

Mr. Atsushi Mizumoto  
 JACET Kansai Journal Secretariat  
 University of Marketing and Distribution Sciences  
[jacet.kansai.journal@gmail.com](mailto:jacet.kansai.journal@gmail.com)  
 (only e-mail submissions will be accepted)

\*If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please request confirmation.

\*From JACET Kansai Journal Vol. 11, only e-mail submissions will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will not be accepted. [This is presently under consideration by Editorial Board.]

Prepare your manuscript according to the *Journal* instructions using Word software. Send it as an attached file with an email message to Mr. Mizumoto, Secretariat, *JACET Kansai Journal*.

Publication schedule for Vol. 11:

Deadline for submission: Oct. 31, 2008  
 (via email as an attached file)

Notification of publication decision: Dec. 31, 2008

Deadline for submission of revisions: Feb. 10, 2009  
 (via email as an attached file + paper printout of final version)

Publication: End of March

Refer to the guidelines and template at the JACET Kansai Chapter home page [www.jacet-kansai.org/kako.html](http://www.jacet-kansai.org/kako.html).

■ 第 1 回講演会のお知らせ ■

関西支部では以下の要領で 2008 年度第 1 回講演会を予定しています。奮ってご参加いただきますよう、ご案内いたします。

学習英文法研究会企画  
 特別シンポジウム「英語教育と英文法」

日時：2008 年 7 月 27 日 (日) 3時30分～5時

場所：京都キャンパスプラザ (JR 京都駅前)

司会：奥田隆一 (関西大学)

講師・タイトル：

神崎高明 (関西学院大学)

「学習英文法から見たジェンダーと代名詞」

山本英一 (関西大学)

「語用論と学習英文法」

甲斐雅之 (京都女子大学)

「学習者に英文法をどう教えるか—修飾と叙述の断片を通して」

■ 前授業学研究委員会よりお知らせ ■

昨年、10 月 26 日発行のニューズレター 40 号でお知らせしました「授業学研究委員会」の再編については、本部理事会での決定により、2 年程遅れて開始されることになりました。新しい委員会の組織等が決まり次第、本紙にてお知らせいたします。

(前授業学研究委員会支部委員長 小栗裕子)

■ JACET 名簿の変更手続き方法のご案内 ■

会員名簿上の変更は ([jacet@zb3.so-net.ne.jp](mailto:jacet@zb3.so-net.ne.jp)) まで。